

学校の音環境に関するアンケート調査

その2 学校の音環境の状況

長野工業高等専門学校 学生会員 折井愛美
 長野工業高等専門学校 学生会員 立石春貴
 長野工業高等専門学校 正会員 西川嘉雄

1. はじめに

社会には車の音、飛行機の音、工場からの音など騒音と認識されている音がたくさんある。そのなかでも近年、苦情の対象となり始めてきたのが学校からの音である。子供たちの活動の場である学校を騒音源にせず、安全な教育の場を維持するため、将来の学校立地計画では音環境を含めて考える必要がある。

本研究では、長野県内の3都市と関東・中部・関西の3都市の小中学校を対象に音環境に関するアンケート調査を行い、音環境の現状を把握する。本報告では、前報¹⁾に続き学校周辺の音環境の状況について報告を行う。

2. 近隣からの音に関する意見

学校の近隣住民から「音に関する意見の有無」「どのような時」「意見の具体的な内容」についてアンケートで調査した。

2-1 音に関する意見の有無

図-1に近隣からの音に関する意見の有無を示す。長野県内の3地方都市で意見があった学校数は長野市で小学校8校、中学校4校で全体の24%、上田市は小学校4校、中学校4校で全体の36%、松本市は小学校7校、中学校2校で全体の24%であった。地方都市では2~3割程度の学校が意見を寄せられていた。一方、大都市は名古屋市で小学校28校、中学校44校で全体の61%、大阪市は小学校36校、中学校26校で全体の65%、横浜市は小学校35校、中学校28校で全体の69%であった。大都市は半数を超える学校が近隣住民から意見を寄せられており、地方都市に比べ大都市の学校が意見を寄せられていることが確認できた。これより、大都市の住民は学校からの音を騒音と認識している傾向が強いとみられる。

図-2に学校の音に関する意見の有無と生徒数の関係を示す。長野市は生徒数が400人以上の学校が意見を寄せられているが、松本市・上田市は生徒数に関係がない。また、大都市も生徒数に関係なく意見が寄せ

られている。そのなかでも横浜市は生徒数が多い学校に意見が集中している。

2-2 具体的な内容

図-3に音に関する意見の内容を示す。全ての都市でそのほかが多く、次いで運動会に関する意見が多い。その他の内容として部活動に関する意見が多かった。

意見の具体的な内容を表-1に示す。部活動に関する意見が最も多く、次いで運動会の練習に関する意見が多い。大都市では、教師の指導や登下校時の声、学校の工事についての意見も寄せられていることがわかる。しかし、好意的な意見もあり、子どもたちの声で元気が出る・歌声がすばらしいという内容もあった。

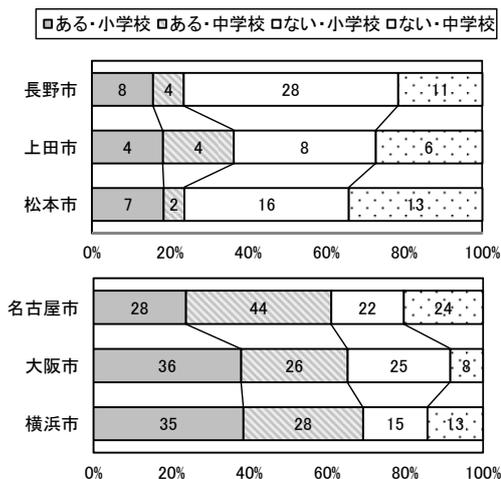


図-1 近隣からの音に関する意見の有無

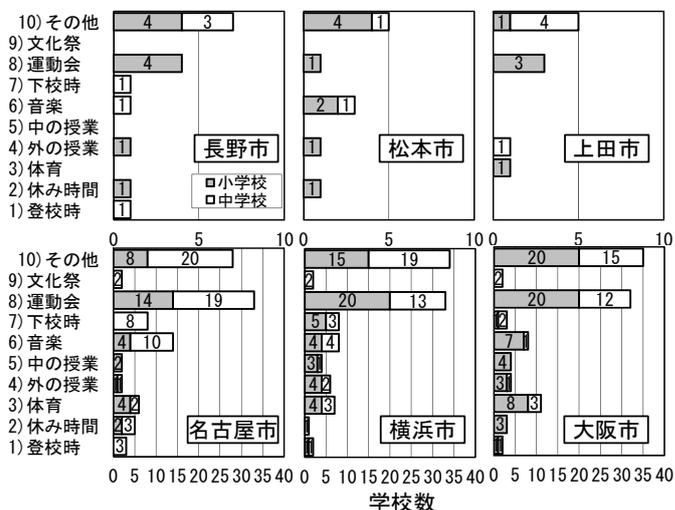


図-2 音に関する意見の有無と生徒数の関係

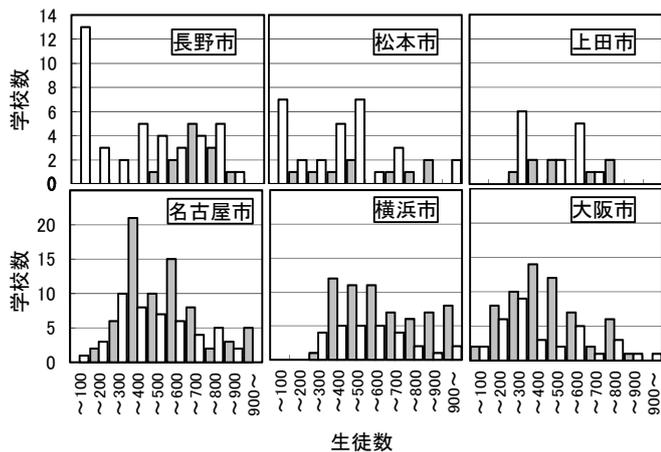


図-3 音に関する意見の内容

表-1 音に関する意見の具体的な内容

	長野	松本	上田	名古屋	横浜	大阪
部活動(吹奏楽・和太鼓等)	1	6	5	28	26	22
運動会の音(花火)	4	1	3	23	20	29
校内放送の音量	3	1	1	9	12	6
プールや体力テストの音	1	1	1	6	8	6
教師の指導の声	-	-	-	3	8	11
登下校時の児童・生徒の声	1	-	-	6	10	5
学校の工事・設備・他	3	-	-	4	1	3
好意的な意見	1	1	1	3	3	2

3. 音に関する学校の意識

学校側の音に対する意識「騒音ととらえられるか」「配慮をしているか」についてアンケートで調査した。

3-1 学校の音は騒音ととらえられると思うか

図-4 に学校からの音は騒音ととらえられると思うと回答した学校の結果を示す。地方都市の学校は長野市で全体の51%、上田市は75%、松本市は61%であった。一方、大都市は名古屋市で全体の85%、大阪市は89%、横浜市は95%であった。

大都市は全体の約9割が学校からの音を騒音としてとらえていることが確認された。これより、現時点で苦情件数が少ない地方都市の学校では、大都市と比較して騒音とっていない学校が多い傾向があった。

3-2 近隣に対して音への配慮をしているか

図-5 に近隣に対して音への配慮をしていると回答した学校の結果を示す。地方都市の学校は長野市で全体の67%、上田市は75%、松本市は68%であった。一方、大都市は名古屋市で全体の90%、大阪市は85%、横浜市は97%であった。

3-1 の結果と同様に大都市は約9割の学校が配慮しており、地方都市では約6、7割の学校が配慮していた。

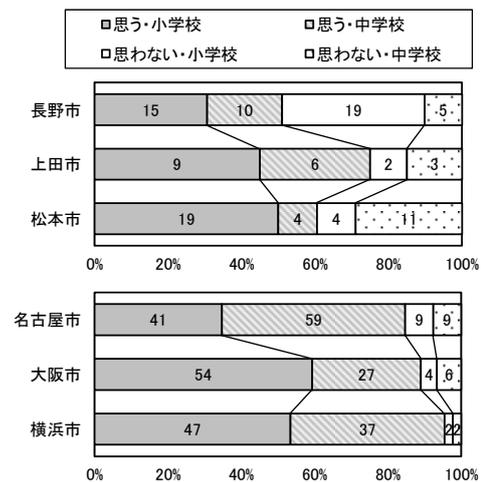


図-4 学校の音は騒音ととらえられるか

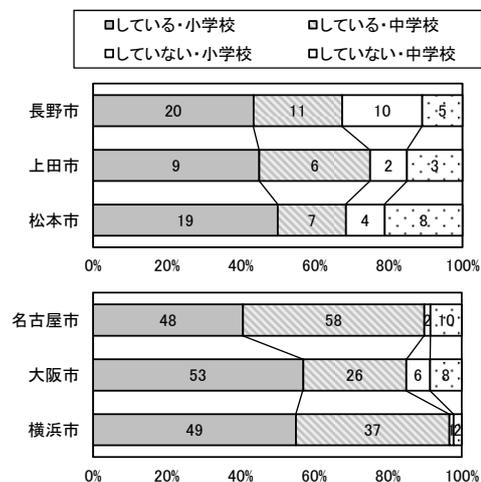


図-5 近隣に対して音への配慮をしているか

4. まとめ

アンケート結果から地方都市より大都市の学校のほうが意見を寄せられていた。現時点では、地方都市において学校からの音が問題となっていないが、大都市と同じような周辺環境や住民意識になった場合に同様な問題となる可能性がある。

また、全ての都市において、「音に関する意見」の割合以上に「学校の音が騒音としてとらえられる」「音に関する近隣への配慮する」の割合が大きかった。

今後、前報¹⁾の「学校と近隣の状況について」の項目(周辺状況・学校概要・住民との交流)と音に関する意見の関係について詳細に考察を行う。また、客観的に周辺状況を把握するためGISを用いた考察を行う予定である。

参考文献

- 1) 立石他、学校の音環境に関するアンケート調査 その1 学校と近隣の状況、(2013.3) 土木学会中部支部